

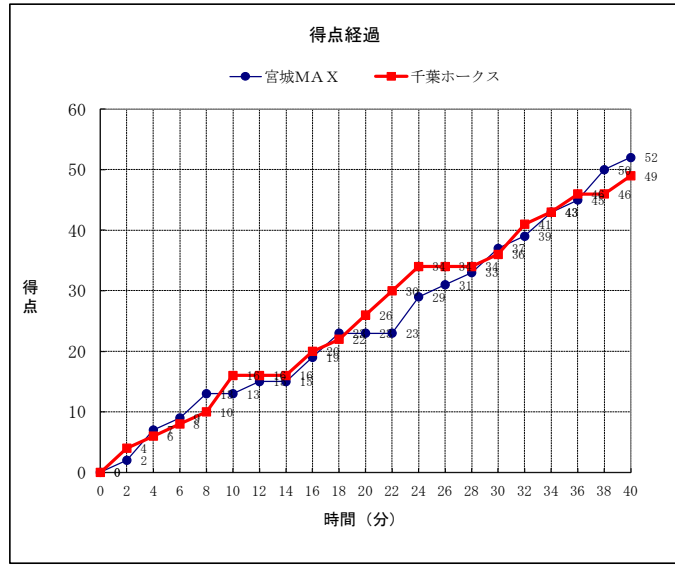
**内閣総理大臣杯争奪
第42回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表**

2014年5月18日 15時30分開始
決勝 東京体育館 M - 8

◎
宮城MAX 52 (東北)
13 1クォーター 16
10 2クォーター 10
14 3クォーター 10
15 4クォーター 13
49 **千葉ホークス** (関東)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	豊島 英 (2)	4	0	2	0	-	-	1	4	清水 健悟 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 5	藤本 怜央 (4.5)	37	1	17	0	-	-	2	5	宇埜 雄太 (1)	-	-	-	-	-	-	-
6	東海林 和幸 (1)	-	-	-	-	-	-	-	6	中島 憲吾 (2)	-	-	-	-	-	-	-
7	五十嵐 雄也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	7	田中 恒一 (3)	-	-	-	-	-	-	-
* 8	佐藤 聡 (1)	2	0	1	0	-	-	1	8	坂井 大 (2)	-	-	-	-	-	-	-
* 10	中澤 正人 (4)	9	0	4	1	-	-	0	* 9	植木 隆人 (2)	12	0	6	0	-	-	1
11	加藤 芳博 (3)	-	-	-	-	-	-	-	* 10	千脇 貢 (2.5)	4	0	2	0	-	-	5
12	高橋 剛志 (4)	-	-	-	-	-	-	-	11	太田 空 (3)	0	0	0	0	-	-	-
13	高橋 浩則 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	12	久世 征士 (2)	-	-	-	-	-	-	-
14	向後 寄夫 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0	* 13	下村 浩之 (1)	0	0	0	0	-	-	4
* 15	藤井 新悟 (1.5)	0	0	0	0	-	-	1	* 14	山口 健二 (4.5)	4	0	2	0	-	-	2
16	菅原 志朗 (1)	-	-	-	-	-	-	-	* 15	土子 大輔 (4)	27	1	11	2	-	-	2
0		-	-	-	-	-	-	-	16	伊東 容臣 (4)	2	0	1	0	-	-	1
0		-	-	-	-	-	-	-	0		-	-	-	-	-	-	-
0		-	-	-	-	-	-	-	0		-	-	-	-	-	-	-
HC	岩佐 義明								HC	杉山 浩							
AC	石川 大介								AC	猪田 博敏							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	左東 摩子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	鈴木 希美代							
マネージャー	生畑目 有希								マネージャー	篠田 愛							
トレーナー	三浦 秀幸								トレーナー	眞田 崇							
合計		52	1	24	1	0	0	5	合計		49	1	22	2	0	0	15

主審： 杉山 兼芳
副審： 岸 良太郎
副審： 吉安 ゆみ



〔戦評〕

1Q 宮城のマイボールからスタート。宮城#8のシュートからスタート。千葉#14のシュートが決まり、取り返す。宮城#5の3Pを含め、一進一退の攻防が続く。宮城#5がリバウンドからの得点を重ねるが、千葉も食らいつく。宮城#4のランニングシュートが決まるが、千葉の#9、#15のスティールからのランニングシュートで逆転。13-16で千葉のリードで1Qを終了。

2Q 千葉のスローインから始まり、宮城は千葉のディフェンスになかなか思うように点が取れない。宮城はマイボールとなるが、生かしきれず、ターンオーバーを取られる。千葉も攻撃に決め手がなく、高さも活かしきれずお互い我慢の時間が流れる。千葉の#14のシュートが決まり、千葉が3点リードするが、宮城#5のシュートが決まり、すかさず得点を返す。宮城#5、#14、#4への速攻で得点を決め、宮城が逆転する。千葉も得点を返し、1点差が続く。宮城はインサイドのパスが通らず、苦戦。千葉は宮城のインサイドのディフェンスの堅さで高さを生かした攻撃ができず、双方一進一退が続くが、宮城のターンオーバーから千葉の#5のレイアップで再度逆転し、千葉#15の得点で3点差となり、23-26で千葉がリードし前半を終了。

3Q 宮城のスローインから開始。宮城はスタートメンバーに戻す。千葉の#15のミドルシュートが決まる。宮城の#5も入れ返す。千葉の#15、宮城の#5の点の取り合いが続き、ゲームはこう着状態となる。ここで、千葉#10の痛恨の連続ファウルで5ファウル退場。千葉メンバーチェンジを余儀なくされる。宮城は、徐々にペースを掴み、宮城の#5のシュートが決まり出し、再度逆転。37-36で宮城1点リードで3Qを終了。

4Q 千葉#15の連続シュートが決まり逆転、宮城のテクニカルファウルで千葉は流れを掴みかけるが、宮城も反撃し、宮城#5のシュートが決まり再び一進一退の攻防が続く。両者激しいディフェンスで得点を許さない。一点差の厳しい戦いが続く中、宮城#5のシュートは外れるが、#10のリバウンドシュートが決まり、ファウルをもらいフリースローも決め、2点のリード。宮城#5のアウトサイドからのシュートが決まり、引き離しにかかる。残り45秒で千葉#15の3Pで3点差に詰めよる。残り7.7秒、千葉の3Pが落ち、宮城タイムアウト。そのまま宮城が逃げ切り、52-49で宮城の勝利で終わる。

(担当：松田/古川/三橋/山)